



杉森だより

平成 31 年 4 月 26 日
調布市立杉森小学校
校長 清水 吏

<http://www.chofu-schools.jp/sugimori-sho/>



sugimori-sho@chofu-schools.jp

「新しい時代『令和』のスタート」

副校長 小林 義史

5月より新しい元号「令和」がスタートします。英語では「Beautiful Harmony＝美しい調和」と説明するそうです。間近に迫ったラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催等、歴史的なスポーツイベントも重なり、新しい時代の到来を感じます。元号に込められた願いのように、人々が美しく心を寄せ合う中で豊かな文化が生まれ育つ平和な時代にしていかなければと思います。

学校を取り巻く環境も新たに変わろうとしています。新学習指導要領の全面実施が翌年に迫り、先日も文部科学省による教科書の検定結果について報道されていました。杉森小学校でも教員全員で授業を見合い研修したり、個人テーマを設け研究に取り組んだり、新たな教育課程に基づく教育活動への準備を進めています。新学習指導要領には、これからの様々な社会的変化の中でも、子供たちが自ら考え判断し行動することによって、豊かな人生を切り拓き、明るい未来を築いてほしいとの願いが込められています。新しい時代を生きる子供たちの徳・知・体にわたる「生きる力」をしっかり育てていこうと気持ちを新たにしています。

さて、杉森小学校も、1年生を迎える会や離任式を終え、子供も教職員も新たなメンバーで歩み始めています。スタートからまもなく1ヶ月が過ぎようとしていますが、不思議なことに顔ぶれが変わったことをあまり感じることはありません。元気な挨拶、気持ちのよい返事、きびきびとした行動…人は変わってもこれらのことが杉森小学校のよさとしてしっかりと引き継がれているからです。

昨年度、卒業式の門出の言葉の中で、5年生が次のように述べる場面がありました。

「私たちは、みなさんの言葉一つ一つを、みなさんの姿一つ一つを、この胸にしっかりと刻み、みなさんのあとを受け継ぎます。」（略）「伝統の鍵は、確かに受け取りました。私たちは、この伝統の鍵をしっかりと受け継ぎ、この杉森小学校を、よりよい学校にしていきます。」

今、6年生となった子供たちは、入学式の日から1年生のお世話に一生懸命取り組むとともに、杉森小学校のリーダーとして手本となる活躍をしています。

子供、保護者、地域、教職員で創り上げてきた伝統を大切にしながら、杉森の子供たちのために、新しい時代を切り拓く学校運営に努めて参ります。

